

< 実践事例 東京都立志村学園 >

ボランティアマインド

障害者理解

スポーツ志向

日本人としての自覚と誇り

豊かな国際感覚

環境

1. 取組・活動名

「おもてなしの心」を育む

2. 取組・活動のねらい

- 本校では、社会自立・社会貢献を目指し、生徒全員の企業就労を実現するための専門的な教育を推進している。また、社会の一員としての自覚を育て、地域社会に貢献しようとする意欲や態度を養うことを教育目標の一つとし、職業に関する教科を中心に企業就労に必要な幅広い知識や技術を身に付けさせている。
- 食品加工コースが営業するカフェでは、地域住民や高齢者、外国からのお客様等を招いた接客をととして「おもてなしの心」を育み、ボランティアマインドの醸成を図っている。

3. 教育課程上の教科名・時数

「職業に関する教科・5時間」他

4. 実施上の工夫

- ・「食品加工コース」が運営するカフェ・レストラン「café de NOVICE」は、月1回のレストラン営業、週1回のカフェ営業を行い地域の皆様に利用していただいている。
- ・月1回高齢者施設の利用者の皆様に本校に招き、「介護・コミュニケーションコース」が企画したレクリエーションを介護実習室で楽しんでもらうようにしている。
- ・「ビルメンテナンスコース」が通路やカフェの床清掃、ガラス清掃等を担当し、「流通・都市農園芸サービスコース」がカフェ・レストラン前や通路上の花壇の整備、プランターの手入れを担う等、全コースで関わり、お客様を迎える準備をしている。
- ・外国人が訪問する際には、ウェルカムボードの作成等に取り組んでいる。

5. 本取組・活動の内容



「高齢者へのおもてなし」

- ・高齢の方や車椅子を使用している方が来店されると、「食品加工コース」の授業で学んだ接客、「介護・コミュニケーションコース」で学んだ車椅子の操作や話し方等を生かしておもてなししている。
- ・接客を担当する生徒たちは少し緊張しながらも、タイミングを見極め、生徒同士連携しベストを尽くして対応している。
- ・お客様から「お肉、やわらかくておいしかったね」といった楽しそうな会話が聞こえ、「親切ですね」、「ありがとう」という言葉を掛けていただき、生徒の表情も笑顔に変わり達成感を感じている様子が伺えた。

ボランティアマインド

障害者理解

スポーツ志向

日本人としての自覚と誇り

豊かな国際感覚

環境



「レストラン営業でのおもてなし」

- ・レストラン営業時は季節に応じたランチメニューを提供している。12月にはクリスマスメニューとして赤ワインを使って調理したフィレ肉の料理や、ノンアルコールのシャンパンを提供し、お客様をおもてなししている。
- ・また、サービス担当は胸に生花のコサージュを付けて、店内の装飾やBGMにも工夫を凝らしている。
- ・生徒たちは、レストラン営業をととして、お客様を第一に考えたおもてなしができることを目標に学んだ技能やサービスを発揮している。



「外国からのお客様をおもてなし」

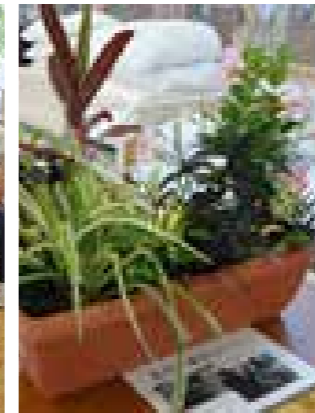
- ・東京国際ユース(U-14)サッカー大会に参加するために海外のチームが2年連続で本校を訪問した。
- ・就業技術科美術部の生徒がウェルカムボードとハチマキを作成し、代表の生徒が英語で出迎えた。
- ・カフェにてティータイムを取った選手たちは、その後、バスケットボールやバレーボールを使用した運動や長縄等のスポーツで交流し、相互に理解を深めた。

6. 成果

- ・接客だけではなく、調理、清掃、花壇の整備、車いすの操作、コミュニケーション等をととして、生徒がそれぞれの役割を發揮している。
- ・お客様をおもてなし、お客様に喜ばれる経験、感謝される経験を積み重ねることにより、自己有用感が高まり、社会に貢献しようとする意欲や他者を思いやる心を育むことができている。本校の生徒たちの目標である企業就労に向け、就労意欲の向上につながっている。



介護実習室でのレクリエーション



流通・都市農園芸コースが整備した寄せ植え



ビルメンテナンスコースによる清掃

